



発行所 曹洞宗青年会
〒105 東京都港区芝
2-5-2 曹洞宗事務所内
発行責任者 神野野州
TEL.03-454-5419

青年宗伯のエネルギーを結集しよう
社会的価値ある活動をしよう
青年宗伯の自覚を促そう
地域における活動の連携を深めよう

街へ出よう花まつり

今月二十四日奈良・東大寺において盛大に「花まつり」千僧法要が実施に...

現代社会へのアピール

まず、大変シロクを受けた事柄から。昨春、愛知県の一日本電設への新入社員教育で...

この事柄ひとつとってみても、現代の若者は、仏教に対する意識が低いと認識しなければならぬ...

花まつり二 考察

七七日の一週間。管理は商店街のお店の方へお檀家さんであれば申し分有りませぬ...

昭和63年4月1日 全国曹洞宗青年会会員各位

昭和63年度定期総会のご案内

謹啓 陽春の候、会員各位におかれましては益々ご清栄のことと存じ上げます。全曹青も皆様のご協力により...

Table with 2 columns: 時間 (Time) and 内容 (Content). Includes details for the meeting on April 26th at Nara Daikokuji Temple.

誠に恐縮ですが4月12日必着にて御返事を返送をお願い致します。

創立五周年記念事業 「心をつなぐ三仏師展」開催

曹洞宗鳥取県青年会 会員九十九名は昭和五十八年に発足の以来本年創立五周年を迎え...

鳥取県青年会 画し実現した。倉吉市内で最初の仏師として佛像を手がけ...

破草鞋 小さな庵と云えども二月の法堂の空気が冷たい。温かい空気を懸けながら...

破草鞋 小さな庵と云えども二月の法堂の空気が冷たい。温かい空気を懸けながらハッとする。黒衣の徳に依り仏教を嘆し、茲に生かされて...

# いのち 新 シリーズ

## 佛教ホスピスをめざして

### —ホスピス運動と老人医療の現状—

中野 東 禪

ホスピス運動、脳死問題、臓器移植等の諸問題が日本で語られて久しい。脳死の判定基準が医学会やその他の機関で取りざたされている。大阪大学(阪大)医学部では独自の判定基準を設けて、本人の同意(脳死)移

植があっても二十四時間は移植手術は行なわないという。死の尊厳をどの様にかえようか、また最後まで人間として生きる。生(いのち)のありかたはどうであろうか。生を明らかに、死を明らかにする祖門の禅

宗教者として、ホスピス運動、脳死問題、臓器移植を考えてみたい。今回はその方面で、宗門の第一人者である中野康禅先生に五回に渡り執筆を御願したい。

新しい施設作りでは、日野原重明先生の「ハウス・ハウス」東京一設立運動、新潟県の田宮病院による佛教ホスピス「ハハラ」設立運動がある。日野原重明先生の活動では、京都佛教青年会の高蓮病院を中核とした佐佐木会、佛教青年会、ライフ・プランニング・センターのストーパーバーガー養成講座などがある。

をもった計画のことをさしている。

ヨーロッパは国によって事情はちがうがアメリカも含めて、施設に収容するホスピスと、ホーム・ケア・システムとの一本立てである。ホーム・ケアというのは、治療の必要が少なく、いたが止められ、なるべく家族と残された時間を有意義に過ごす人々のためである。看護婦やボランティアが家庭訪問して医師に報告するシステムで、拠点となる事務室、病院、地域医療センターなどによって運営される。

日本では、浜松の聖隷三万原病院、大阪淀川キリスト教病院、沖縄オリーブ病院、福岡、千葉葉等にある。個人病院では東京の鈴木内科医院などが努力している。その他ホスピスはたなくとも、ターミナル・ケア(終末期の看護の実践)と研究は多くの病院ではじめられている。

このシステムと理念の中心は、病人をだましてひたす治療(キユアー)のみで、治療が無意味になった患者には、むしろ安楽(看護・ケア)をやるべきだという点にある。したがって、まず第一に疼痛の除去が重き意味をもつ。治療において、従来痛みの研究は重きをなしていなかった。しかし、痛みをとることによって残された時間をよりよく生きる必要

宗教者として、ホスピス運動、脳死問題、臓器移植を考えてみたい。今回はその方面で、宗門の第一人者である中野康禅先生に五回に渡り執筆を御願したい。

日本では、浜松の聖隷三万原病院、大阪淀川キリスト教病院、沖縄オリーブ病院、福岡、千葉葉等にある。個人病院では東京の鈴木内科医院などが努力している。その他ホスピスはたなくとも、ターミナル・ケア(終末期の看護の実践)と研究は多くの病院ではじめられている。

このシステムと理念の中心は、病人をだましてひたす治療(キユアー)のみで、治療が無意味になった患者には、むしろ安楽(看護・ケア)をやるべきだという点にある。したがって、まず第一に疼痛の除去が重き意味をもつ。治療において、従来痛みの研究は重きをなしていなかった。しかし、痛みをとることによって残された時間をよりよく生きる必要

宗教者として、ホスピス運動、脳死問題、臓器移植を考えてみたい。今回はその方面で、宗門の第一人者である中野康禅先生に五回に渡り執筆を御願したい。

宗教者として、ホスピス運動、脳死問題、臓器移植を考えてみたい。今回はその方面で、宗門の第一人者である中野康禅先生に五回に渡り執筆を御願したい。

このシステムと理念の中心は、病人をだましてひたす治療(キユアー)のみで、治療が無意味になった患者には、むしろ安楽(看護・ケア)をやるべきだという点にある。したがって、まず第一に疼痛の除去が重き意味をもつ。治療において、従来痛みの研究は重きをなしていなかった。しかし、痛みをとることによって残された時間をよりよく生きる必要

宗教者として、ホスピス運動、脳死問題、臓器移植を考えてみたい。今回はその方面で、宗門の第一人者である中野康禅先生に五回に渡り執筆を御願したい。

宗教者として、ホスピス運動、脳死問題、臓器移植を考えてみたい。今回はその方面で、宗門の第一人者である中野康禅先生に五回に渡り執筆を御願したい。

宗教者として、ホスピス運動、脳死問題、臓器移植を考えてみたい。今回はその方面で、宗門の第一人者である中野康禅先生に五回に渡り執筆を御願したい。

このシステムと理念の中心は、病人をだましてひたす治療(キユアー)のみで、治療が無意味になった患者には、むしろ安楽(看護・ケア)をやるべきだという点にある。したがって、まず第一に疼痛の除去が重き意味をもつ。治療において、従来痛みの研究は重きをなしていなかった。しかし、痛みをとることによって残された時間をよりよく生きる必要

宗教者として、ホスピス運動、脳死問題、臓器移植を考えてみたい。今回はその方面で、宗門の第一人者である中野康禅先生に五回に渡り執筆を御願したい。

宗教者として、ホスピス運動、脳死問題、臓器移植を考えてみたい。今回はその方面で、宗門の第一人者である中野康禅先生に五回に渡り執筆を御願したい。

宗教者として、ホスピス運動、脳死問題、臓器移植を考えてみたい。今回はその方面で、宗門の第一人者である中野康禅先生に五回に渡り執筆を御願したい。

このシステムと理念の中心は、病人をだましてひたす治療(キユアー)のみで、治療が無意味になった患者には、むしろ安楽(看護・ケア)をやるべきだという点にある。したがって、まず第一に疼痛の除去が重き意味をもつ。治療において、従来痛みの研究は重きをなしていなかった。しかし、痛みをとることによって残された時間をよりよく生きる必要

宗教者として、ホスピス運動、脳死問題、臓器移植を考えてみたい。今回はその方面で、宗門の第一人者である中野康禅先生に五回に渡り執筆を御願したい。

宗教者として、ホスピス運動、脳死問題、臓器移植を考えてみたい。今回はその方面で、宗門の第一人者である中野康禅先生に五回に渡り執筆を御願したい。

宗教者として、ホスピス運動、脳死問題、臓器移植を考えてみたい。今回はその方面で、宗門の第一人者である中野康禅先生に五回に渡り執筆を御願したい。

このシステムと理念の中心は、病人をだましてひたす治療(キユアー)のみで、治療が無意味になった患者には、むしろ安楽(看護・ケア)をやるべきだという点にある。したがって、まず第一に疼痛の除去が重き意味をもつ。治療において、従来痛みの研究は重きをなしていなかった。しかし、痛みをとることによって残された時間をよりよく生きる必要

宗教者として、ホスピス運動、脳死問題、臓器移植を考えてみたい。今回はその方面で、宗門の第一人者である中野康禅先生に五回に渡り執筆を御願したい。

宗教者として、ホスピス運動、脳死問題、臓器移植を考えてみたい。今回はその方面で、宗門の第一人者である中野康禅先生に五回に渡り執筆を御願したい。

宗教者として、ホスピス運動、脳死問題、臓器移植を考えてみたい。今回はその方面で、宗門の第一人者である中野康禅先生に五回に渡り執筆を御願したい。

このシステムと理念の中心は、病人をだましてひたす治療(キユアー)のみで、治療が無意味になった患者には、むしろ安楽(看護・ケア)をやるべきだという点にある。したがって、まず第一に疼痛の除去が重き意味をもつ。治療において、従来痛みの研究は重きをなしていなかった。しかし、痛みをとることによって残された時間をよりよく生きる必要

宗教者として、ホスピス運動、脳死問題、臓器移植を考えてみたい。今回はその方面で、宗門の第一人者である中野康禅先生に五回に渡り執筆を御願したい。

宗教者として、ホスピス運動、脳死問題、臓器移植を考えてみたい。今回はその方面で、宗門の第一人者である中野康禅先生に五回に渡り執筆を御願したい。

宗教者として、ホスピス運動、脳死問題、臓器移植を考えてみたい。今回はその方面で、宗門の第一人者である中野康禅先生に五回に渡り執筆を御願したい。

このシステムと理念の中心は、病人をだましてひたす治療(キユアー)のみで、治療が無意味になった患者には、むしろ安楽(看護・ケア)をやるべきだという点にある。したがって、まず第一に疼痛の除去が重き意味をもつ。治療において、従来痛みの研究は重きをなしていなかった。しかし、痛みをとることによって残された時間をよりよく生きる必要

宗教者として、ホスピス運動、脳死問題、臓器移植を考えてみたい。今回はその方面で、宗門の第一人者である中野康禅先生に五回に渡り執筆を御願したい。

宗教者として、ホスピス運動、脳死問題、臓器移植を考えてみたい。今回はその方面で、宗門の第一人者である中野康禅先生に五回に渡り執筆を御願したい。

宗教者として、ホスピス運動、脳死問題、臓器移植を考えてみたい。今回はその方面で、宗門の第一人者である中野康禅先生に五回に渡り執筆を御願したい。

### 筆者紹介

昭和十四年静岡生まれ。駒沢大学仏教学部を経て、同大学院修士課程修了。現在、曹洞宗教化研修所事務、駒沢大学講師。南無の会、副総務、実践布教友の会代表幹事。京都市、龍泉寺住職。著書に「道はわが胸中(あり)広済堂出版」55冊のすずめ(日本実業出版)「禅問答」55の知恵(二)書房(禅の常識)「講談社」などがある。

### 手縫い絛子セツト

全国曹洞宗青年会監修

結果さえ良ければ、その過程はどうでもいってしまう現代の風潮。少しおかしな感じも、その解決策が見出せない。禅の教えは、結果よりもその過程であるはず。手縫いの絛子(せつ)を縫い上げることに、そのことを、も一度見つけなおしたい。このセツトを、青年会、婦人会、或いは権信徒の研修会等の教材として利用下さい。このセツトで練習し、仲間をつつて大衣(九条以上)を縫い上げられるのも面白いと思います。セツトには、初心者には最も扱いやすい材料を集めてあります。セツト内容 表布(紺ブロード)・芯布(真綿)・糸、針、テキスト

### 手縫い絛子セツト

一セツト 三三〇円

申し込み先

〒五二〇

大津市長等二丁目四一三

青龍寺内

申し込みは必ずハガキにてお願いします。料金は後日、郵便振替にてお願します。

妙法蓮華經  
●新装版 ●号外版  
●新門部

別冊全巻仕上げ表紙(3冊セツト)  
¥7,000  
洋紙(きぬもみ)仕上げ表紙(3冊セツト)  
¥6,000

●各巻ともあります。  
●新装版の価格も出ます。

法要の際にご本堂などで—

曹洞宗日課経大全  
修証義ミニ本

100冊以上・1冊につき ¥80  
●500冊以上、真鍮表紙に有紋表紙の価格も出ます。

100冊未満・1冊につき ¥500  
100冊以上の場合 ¥480

修証義

5冊組 ¥5,000  
10冊組 ¥11,000

●申し込みは—(株)タイキ 〒538 大阪市鶴見区今津中3丁目9番6号 TEL.(06)959-7191 FAX.(06)959-7194

# 我が曹青

## を語る (12)

岩手曹青

会長 三宅俊禪

本会は、昭和五十一年十月後東北地方連会を当票にて開催、これが第一回岩手大会として東北曹青の出発点となり、まさに本会と東北曹青は同時に同室で産声をあげたのである。

東北で初めての大会を、しかも四十名の参加者を受け入れて成功裡に導いた本会は、釈尊生涯の七歩行の如く、大なるパワーを秘めての誕生であった。そのパワーは、昭和六十年の結成十周年記念事業へと全開され、戒弟子二百名を越す戒会にして、近年希れなる最大規模の大授戒会と戒師様云々を至るに至った。

一 区切りをつけた本会は、さらに歴史と伝統を積み重ねるべく二十周年へ向け歩み始めていく。先づ古きを顧み直しを知るの道理、六十二年より「現代の生老問題に佛教はどう応えるか」をテーマに、脳死問題、臓器移植問題、ボスビス問題等々、最近一番の社会的課題を教養セミナーとして取り上げ、講師にその道の第一人者である中野東禅先生はじめ、マスコミ人、医師を招いて問題を深く掘り下げ取り組んでいる。また、岩手県立博物館主任大矢邦宣先生を本会の常任講師に招き、

会報に宗門寺院中心に「いわての寺宝を訪ねて」を執筆連載中、歴史の重みを知る機会を得ている。

年間行事は、先きの教養セミナーの集いが、二年前迄は子供対象と一般対象と別々に開催していた。これはどこの曹青でも云われる如く、子供対象の集いの参加者は容易に集まるも、反面一般対象の開催は困難を極め、禪の集いの悩みの種になっていたのが現状である。六十二年度より子供対象の集いは各教区に任せ、一般対象として「坐グルメ&とり」とうたい、奥の正法寺を会場に、二の膳つき本格的精選料理（朝参用菓子まで手づくり）と日本一の茅葺き屋根の禅道場での坐禅は二年間で百四十余名、この集いは宗務所と女子青年会の後援を得て、特に全国唯一の岩手県曹洞宗女子青年会の手伝いを得たこと云々である。

寒風接心会並に歳末助け合い托鉢は、各教区持ち回り会場会場教区の福祉事務所へ寄付、精選料理講習会（年三会場）は、教区青年会、寺族会、公民館等との共催が多くなっている。

新年交賀会は、厳寒期の集いであるが、その益金を曹洞宗ボランティア会におくり、ボランティア活動の一環をなしている。年一回各教区青年会主催のアイデアとサーヴィスをもつて本会会費を招待仕合う懇親会もあり、大いに連帯を強めている。会報曹青通信「いわて」は年三回の発行二十五号を数える。

また本会の事業でないが、会員が発的に行っている研究会や愛好会がある。詩偶の勉強会、精選料理研究会（寺族も加入、既に精選料理カード作製と講習会や食器等の研究。ダッタの会）ナ

ナハンライダーの集り、各教区の野球倶楽部（年一回岩手B.S杯、B.S観光主催本会後援。草法要会（ゲートボールに近いゴルフ愛好者の集り等々、会員の連帯と互助精神が大いに発揮されている。宗門人とそれぞれ、しての自己研鑽と、青年らしくアクティブに、時に真摯に時には楽しく同行同参するのが我が岩手曹青である。

### 第22回 みちのく緑陰禪のつどい

於 水沢市・正法寺

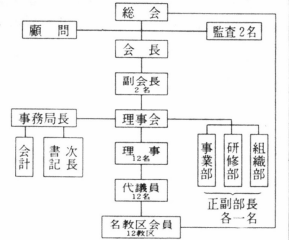


主催 岩手県曹洞宗青年会

### 役員紹介

- |      |      |
|------|------|
| 副会長  | 小水誠勝 |
| 組織部長 | 加藤裕興 |
| 副部長  | 藤原耕道 |
| 事業部長 | 高澤公省 |
| 副部長  | 大倉良寛 |
| 研修部長 | 高橋秋寛 |
| 副部長  | 清水伯也 |
| 監事   | 葛西秋寛 |
| 事務局長 | 高橋秋寛 |
| 書次   | 大倉良寛 |
| 理事   | 阿部善文 |
| 副理事  | 葛西秋寛 |
| 書記   | 清水伯也 |
| 次長   | 高橋秋寛 |
| 会計   | 大倉良寛 |

### 岩曹青機構



## 玄奘三蔵の足跡を辿る『中国からパキスタンへ』 15日間

北京/ウルムチ/カシュガル/タシュクルガン/クンジュラブ峠/フンザ/キルギット/ペシャワール

①昭和63年6月17日～6月30日 ②昭和63年8月26日～9月8日 旅行代金 485,000円

東京発着・添乗員同行・全食事付

主催 株式会社 ビーエス観光

大阪 (06)444-2225 広島 (082)244-1033  
東京 (03)563-2691 米子 (0859)33-6456

1978年6月、中国とパキスタンを結ぶカラコルムハイウェイが全線開通いたしました。これにより、玄奘三蔵やマルコポーロが苦難の末越えたこの道は今もバスで快適にご旅行いただけます。

'88

奈良発

# 未来へむけて

2038年のあなたへ

全国曹洞宗青年会会員各位

全国曹洞宗青年会

会長 神野 哲州

## 東大寺『花まつり千僧法要』のご案内

春暖の候、皆様におかれましては益々ご清栄のことと存じます。各地の曹青活動も皆様の一致した協力のもと年々充実し、今や宗門布教の第一線を担っていますことはまことに喜ばしいことであります。

さて、すでに広報等でご案内いたしました、この度、仏法の興隆と世界の平和を祈り標記の法要を開催いたしますことになりました。他宗派青年僧も参加するこの法要は東大寺におきましても八百年ぶりであり、仏教の興隆を願う青年僧の集としてこれに勝るものはないと思います。ここにご案内申し上げますとともに皆様のご参加をお願いいたします。

記

時 昭和63年4月26日(火) 正午より  
会 場 奈良市 東大寺 大仏殿  
要 項 曹青通信第54号を参照下さい。  
参加届け 同封『花まつり千僧法要』にてお届け下さい。

※同封「花まつり千僧法要」参加届はご借借用をお使い下さい。  
切り取り線より切りはなし、真ん中よりたてに二つ折にします。往復はがきとなりますので、往信に参加不参加を記し、返信にメッセージをお書き下さい。50年後返信はがきのみが返送されます。往信、返信両方に40円切手をおおすれなく貼って下さい。  
タイムカプセル申し込みご借借様は無料受付です。

### 『なら・シルクロード博』全曹青行事

5月23日(月)・24日(火) 午前10時より 灌仏会 奈良市元興寺 25～27日

新作仏教劇 ミュージカル ブッタ シャキャムーニの誕生

11時 13時の2公演

春日野会場 サテライトスタジオ

(会場都合で開演時刻が変更ことがあります)

人間として生まれた釈尊が人として生まれた喜びと、人間の可能性について大衆に語ります。感動の仏教劇が完成しました。皆さまの来場をお願いします。

10月1日～23日

坐・精進料理 奈良市 元興寺

1日限定100名の坐禅と聞法と精進料理の集い

参加費 1名5,000円 ビーエス観光で取り扱い中  
典座寮等での会員参加を募集します。

参加者は 僧堂生活に準じます。詳しくは宗報で発表いたします。

### 『なら・シルクロード博』関係行事予算書

収入の部		43,000,000円	
1. 全曹青本部予算		2,000,000円	
2. 宗務庁補助金		5,000,000円	
3. 両大本山補助金		6,000,000円	
4. 坐・精進料理収入		10,000,000円	
5. 寄付金		20,000,000円	
支出の部			
1. 千僧法要		24,000,000円	
内 訳			
1. 備品借入費		8,450,000円	
2. 警備費		850,000円	
3. 献香料(会場費)		300,000円	
4. 献花代		200,000円	
5. 演出人件費		300,000円	
6. 演出動物費		3,300,000円	
7. タイムカプセル費		2,000,000円	
8. 記念塔		5,000,000円	
9. 記念品		500,000円	
10. 印刷経費		2,000,000円	
11. 諸経費		1,100,000円	
2. 花まつりウィーク		7,000,000円	
内 訳			
1. 仏教劇製作上演費		5,000,000円	
2. 諸経費		2,000,000円	
3. 坐・精進料理		120,000,000円	
内 訳			
1. 会場		3,000,000円	
2. 設営印刷経費		3,000,000円	
3. 仕入れ費用		3,000,000円	
4. 宿泊費		2,500,000円	
5. 諸経費		500,000円	
坐・精進料理は85%の参加率で算出。 タイムカプセル申し込み金は寄付金に充当します。			

### タイムカプセル納入募集のお願い

この度の『なら・シルクロード博』行事にあたりタイムカプセル埋設を計画いたしております。カプセルには今回の記録とともに、未来へのメッセージ納入を受け付けます。このメッセージは50年後に縁者に返送されるものであります。

一般申し込みにつきましては一申し込み(葉書)につき千円の申し込み金をいただきます。会員の皆様には誠に恐縮ですが、檀信徒各位にご紹介お勧めいただきたくここにお願ひ申し上げます。

第1次メ切4月26日、最終メ切10月23日到着分までと致します。未来の自分へ、また子供達へ、各地で大変反響を呼んでいます。ぜひ一般の多くの方へお勧め下さい。

#### ●方法1

一般用タイムカプセル申し込み書は全曹青役員、各単位曹青評議員が持っております。数をまとめて申し込みをして下さい。一般の方へはそれを1部千円でおわけして下さい。

#### ●方法2

官製はがき、ミニレター、封書等で申し込み下さい。この場合、未来へのメッセージの書かれたもの(官製はがき、ミニレター、封書等)へ必要分の切手をはり50年後に受け取られる方の住所氏名をご記入の上それを別の封筒へ入れ下記へお出し下さい。

申し込み金は、郵便振替にて送金され領収書を同封して下さい。(領収書なきものは取りあつかい不可となりますので御注意下さい。)

●郵便振替 全国曹洞宗青年会 名古屋6—89833

●あて先 〒477 愛知県東海市加木屋町西御門23 普濟寺内

花まつり千僧法要事務局

伊 藤 道 直

#### ●法要について

◆千僧法要の多くは時の権力者によって『僧侶供養』として催されたものであります。今回は僧侶によって計画され、市民参加の法要であります。施主は僧侶と市民であります。

◆別記予算書は去る11月の理事会にて承認いただいたものです。執行部にて鋭意努力いたしていますが、今だ充分ではありません。皆様のご協力をお願いいたします。

およそ千年ぶりに千僧法要が開催されます。この大法要が無事円成されますよう、皆様の御喜捨を同封の振替用紙にて受付しております。一口一千元以上何口でも、できる限りの御援助をお願い致します。